

応用物理学会 2016春季講演会(東工大)シンポジウム
S5化合物薄膜太陽電池の高効率化技術の現在と未来
(多元系化合物・太陽電池研究会)

2016年3月19日(土)13:15~18:45 W541(西5号館)

企画の趣旨: CIGS系太陽電池, CdTe系太陽電池もここ数年で効率改善されている。また, ペロブスカイト太陽電池, 塗布型有機色素太陽電池等, 最近登場した太陽電池も高効率化が急速に進んでいる。加えて, 量子ドット, 中間バンド太陽電池等, 従来の太陽電池とは異なる新しい技術に基づき高効率化を目指す太陽電池も注目されている。それぞれの太陽電池分野の研究者が一堂に会し, 高効率化技術に関する講演, 議論をすることにより, さらなる高効率化のヒントをつかむことが期待される。

招待講演者

- 田島伸(豊田中研) : $\text{Cu}_2\text{ZnSnS}_4$ (CZTS) 太陽電池の高効率化に関する検討
柴田 肇(産総研) : CIGS系化合物薄膜太陽電池の高効率化技術の現在と未来
菅谷 武芳(産総研) : スマートスタック異種多接合太陽電池
高本 達也(シャープ) : III-V族多接合型太陽電池の動向について
岡田 至崇(東大) : 量子ドット中間バンド太陽電池の高効率化メカニズム
岡本 保(木更津高専) : CdTe太陽電池の最近の展望
若宮 淳志(京大) : ペロブスカイト太陽電池高効率化のための材料開発